

# 大阪国際がんセンター 初期臨床研修プログラム

(平成30年度版)

大阪国際がんセンター臨床研修管理委員会

なお、本プログラムの1年目研修プログラム内容は「大阪大学医学部附属病院臨床研修プログラムC」の1年目の研修内容にも適応されます。

## 大阪国際がんセンター 初期臨床研修プログラム

(はじめに)

大阪国際がんセンター（旧大阪府立成人病センター）は成人病診療の基幹病院として、併設の研究所、がん対策センターと連携しつつ常に最良で高レベルの医療を患者様に提供すべく努力してきました。また、がん・循環器疾患の専門施設として各分野の専門医の育成にも努めています。この実績が認められ、公立医療施設としては全国で初の「特定機能病院」の承認を得ています。これらの実績を基盤に初期臨床研修プログラムに基づき、若手医師の臨床研修にも積極的に取り組む所存です。

(研修の目的)

初期臨床研修医は技術以前の課題として、臨床医の基本である「患者様第一」の精神で、患者様のために自分のベストをつくす行動パターンをまず体得する必要があると考えます。その為には全身全霊、患者様の訴えに耳を傾け、病状の把握と理解に努めることが大切であり、臨床医は一般的に遭遇するあらゆる疾患や救急病態に対して、初期診療を含む一定の対応のできる能力、プライマリーケア能力がまず要求されます。我々はまず医師として通常要求されるこのプライマリーケア能力の獲得を目的の第一に設定しています。その上で、各自が望む領域の研修に励んでいただきたいと思います。それに加え、患者様およびその家族と心情的に豊かな交流を持ちうる人間性の形成、医療安全への基本を身につけること、さらには一科学者、一社会人としての幅広い教養の獲得のための日常の研鑽も望んでいます。

(研修の概要)

大阪国際がんセンターは、厚生労働大臣の指定する基幹型臨床研修指定病院として、協力型臨床研修病院および臨床研修協力施設で研修病院群を構成し初期臨床研修を実施しています。

初期臨床研修2年の間に厚生労働省が定めた必修科目である内科（6ヶ月）・救急（3ヶ月、麻酔科1ヶ月、救急救命2ヶ月）・地域医療（1ヶ月）および選択必修科目（外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目）のすべてを研修できるプログラムが作成されています。また、これらの科を含めすべての診療科（協力型臨床研修病院のそれを含む）から希望診療科を選択できる期間を11ヶ月間設定し、より広範囲かつ高度の内容の研修を受けることを可能にしています。

現在は当センターの協力型臨床研修病院として、国家公務員共済組合連合会大手前病院・独立行政法人国立病院機構大阪医療センター・社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院・大阪府立精神医療センターに御協力を頂いております。

研修医を対象とする基礎的講習会（心電図等の画像情報読影訓練、救急救命処置、人工呼吸器使用法、腎透析実施法、など）は義務的参加であり、これ以外にも研修医・一般医師を対象とした（院内・院外）講習会や研究所、がん対策センター主催によるセミナーが開催されています。CPC（臨床病理カンファランス）にはすべての研修医の参加が予定されています。

#### （研修の方針）

1. 将来いずれの診療科を専攻しようとする者も、まず幅広い臨床研修を通じてプライマリケア能力、スタッフとのチームワーク能力等の習得を目指し、将来の臨床医、専門医にふさわしい基礎能力を獲得する。
2. 診療技術を含む患者情報の的確な収集能力を身につけ、患者様の持つ問題点の整理明確化を図り、解決のための論理的な計画立案およびその治療実行能力を習得すること。
3. 医師と患者様およびその家族との間に適切な人間関係が構築でき、論理的な説明とインフォームドコンセント取得が行えること。
4. 地域医療の最前線にある協力型研修病院および研修協力施設と連携することにより、幅広い疾患群の経験をめざすとともに、社会医学・予防医学の重要性および医療の社会性・公共性を学ぶこと。
5. 研修医本人、他の医療従事者、患者本人および家族の医療安全への基本的配慮を身につけること。
6. 医療従事者として適切な自己評価を常に行うとともに、一科学者、一社会人として自立できるよう知識、教養を習得すべく研鑽に励むこと。院内外での各種検討会、カンファレンス、勉強会などにも積極的に参加すること。
7. 研修医として研修委員会の指導に従うとともに、所属施設の職員の一人としての規律に従い、リスペクト（尊敬）されるように努力すること。

#### （研修の方法）

1. 2年間のローテート方式により研修を行います。厚生労働省が必修科目と定めた内科（6ヶ月）・救急部門（3ヶ月）・地域医療（1ヶ月）および選択必修科目（外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目を3ヶ月）は優先して研修を受けて頂きます。また、これらの科を含めすべての診療科（協力型病院のそれを含む）から希望診療科を選択できる期間を11ヶ月間設定しています。
2. 小児科、産婦人科、精神科、救急部門及び地域医療の一部研修は協力型臨床研修病院および研修協力施設で行います。
3. 研修医にはマンツーマンで研修指導医が定められ、その指導のもと臨床研修に従事します。なお研修上必要ならば研修医は研修指導医とともに当直業務の研修も行います。
4. 個々の研修医の習得状況を研修プログラム内のチェックシートで確認点検し、研修指

導医と臨床研修委員会でその評価を行います。最終的にはEPOCシステムへの登録、評価を受けます。

5. 臨床研修を修了した研修医には、大阪国際がんセンター総長より臨床研修修了証を交付します。
6. 各種問題解決を含む研修の調整、運営及び決定は、臨床研修管理委員会が担当します。
7. 臨床研修医はその研修期間中は関連法令、関連諸規定の遵守義務を負います。

#### (研修スケジュール)

##### 【1年次】

厚生労働省が必修科目と定めた内科（6ヶ月）・救急部門（3ヶ月）および選択必修科目（外科・小児科・産婦人科・精神科）のうち外科を必修科目として研修を行います。

内科（6ヶ月）は消化管内科、肝胆膵内科、呼吸器内科、血液・化学療法科及び臨床腫瘍科から研修医が希望する診療科で行います。

救急部門（3ヶ月）は当センター麻酔科で1ヶ月研修を行い、残り2ヶ月については協力型臨床研修病院の国家公務員共済組合連合会大手前病院もしくは独立行政法人国立病院機構大阪医療センター（救急救命センター）にて行います。

選択必修科目（3ヶ月）については、外科（2ヶ月）を必修とし、残り1ヶ月については研修医の希望に沿って研修科を決定します。

小児科研修については社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科にて実施します。

産婦人科研修については、婦人科研修は当センター婦人科、産科研修は社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院産科においてそれぞれ実施します。

精神科研修は大阪府立精神医療センターにて実施します。

##### 【2年次】

厚生労働省が必修科目と定めた地域医療（1ヶ月）を、当センターがん対策センターまたは公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センターで実施します。

上述の科を含め当センター全ての診療科から研修医の希望に基づき診療科を選択できる期間を11ヶ月間設定しています。具体的な研修診療科、研修期間等については、別途調整の上決定します。

また、上記自由選択期間（11ヶ月）においては協力型臨床研修病院（国家公務員共済組合連合会大手前病院・独立行政法人国立病院機構大阪医療センター・社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院・大阪府立精神医療センター）における研修も可能です。

（研修機関・研修診療科については協力型臨床研修病院と調整の上、決定）

【研修スケジュール例】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 6ヶ月						救急部門 麻酔科 1ヶ月+ 救急 2ヶ月			選択必修科目 外科 2ヶ月+ 選択必修科 1ヶ月		
2年目	地域 医療	自由選択科目 11ヶ月										

○1年目の選択必修科目は外科を2ヶ月、残り1ヶ月は小児科・産婦人科・精神科から1科目を選択する。

○救急部門研修は、当センター麻酔科で1ヶ月、残り2ヶ月を国家公務員共済組合連合会 大手前病院もしくは独立行政法人国立病院機構大阪医療センターで研修を実施する。

○産婦人科を選択する場合、婦人科については当センター婦人科、産科については社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院産科にて1ヶ月研修を実施する。

○研修スケジュールは各研修医により異なる。

(臨床研修管理体制)

1. 臨床研修管理体制

臨床研修管理責任者	副院長 片山 和宏
臨床研修管理副責任者	消化器外科主任部長 大植 雅之
同	脳神経外科部長 木下 学
同	消化管内科副部長 山本 幸子

2. 初期臨床研修事務は、事務局総務・人事グループが行う。

(研修医の採用・処遇について)

1. 採用について

研修医募集定員：1年次 2名

研修医は公募により募集し、書類選考及び面接試験により採用を決定する。

なお、募集要項については当センターホームページ上にて公表する。

ホームページアドレス <http://www.mc.pref.osaka.jp/>

## 2、処遇について

- (1) 身分：非常勤嘱託員
- (2) 待遇：月額 1年次 260,000円  
2年次 272,000円  
通勤手当支給（1ヶ月定期券相当）
- (3) 勤務時間：9：00～17：30（休憩45分）
- (4) 休日・休暇：土・日・祝および年末年始（12/29～1/3）  
年次有給休暇付与
- (5) 社会保険：協会けんぽ健康保険・厚生年金保険  
労災保険・雇用保険 加入
- (6) 健康管理：定期健康診断
- (7) その他：宿舎：無  
病院内の個室：臨床研修医ルーム有  
医師賠償責任保険：センターにて加入  
学会・研究会等への参加：可（費用は規定に則り支給する場合あり）

（問い合わせ）

大阪国際がんセンター 事務局総務・人事グループ

TEL 06-6945-1181（内線 5111）

FAX 06-6945-1900

Mail kensyu@mc.pref.osaka.jp